

七、昭和二十年勅令第五百四十一號ニ基ク 勞務充足關係

- 一 昭和二十年十月十六日厚生省令第四十一號（昭和二十年勅令第五百四十二號ニ基ク勞務充足ニ關スル件）
- 一 昭和二十年十月十六日厚生省令第四十一號事務取扱要領ニ關スル件（昭二〇・一〇・二四、厚生省發勅第二二四號厚生次官）
- 一 聯合軍ニ對スル勞務供出ニ關スル給與ノ支拂等ニ關スル件（昭二〇・九・一五、勤發第九五〇號厚生省勤勞局長）
- 一 聯合軍ニ對スル供出勞務ノ給與ニ關スル件（昭二〇・一〇・二六、勤發第一〇七九號厚生省勤勞局長）
- 一 應召又ハ入營中ノ勤勞者ニ對スル給與支給ニ關スル件（昭二〇・一〇・一六、厚生省發勤第一九九號厚生省勤勞局長）
- 一 （参考）昭和二十年九月二十日勅令第五百四十二號（帝國憲法第八條第一項ニ依リ「ボツダム」宣旨受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件）

厚生省令第四十一號

昭和二十年勅令第五百四十二號ニ基ク勞務充足ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十年十月十六日

厚生大臣 芦 田 均

第一條 聯合國最高司令官ノ爲ス要求ニ係ル勞務ノ充足ニ關スル命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 地方長官（東京都ニ在リテハ警視總監以下同シ）必要アリト認ムルトキハ其ノ指定スル職業ニ從事スル者又ハ其ノ職業ヲ罷メタル日ヨリ三年ヲ經過セザル者ニ對シ其ノ氏名、居住ノ場所、職歴其ノ他必要ナル事項ヲ日時ヲ指定シ其ノ居住ノ場所ノ所轄勤勞署長工届出ヅベキコトヲ命ズルコトヲ得

番方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ者ニ異シ同項ノ事項中居住ノ場所等ニ付變更アリタルトキハ十四日以内ニ前項ノ勤勞署長ニ届出ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第三條 地方長官ハ勞務充足ヲ迅速且的確ニ遂行スル必要アル場合ニ於テハ充足セラルベキ從業者ニ付組織的出動ニ關シ豫メ必要ナル措置ヲ爲スベキモノトス

地方長官前項ノ措置實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ノ從業者ニ對シ其ノ指定スル團體ニ所

屬スペキコトヲ命ズルコトヲ得

一〇六

前項ノ命令ハ所屬令書ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス

第一項ノ命令ヲ受ケタル者ハ其ノ從業ニ關シ同項ノ團體ノ長ノ指示ニ從フベシ

第四條 地方官勞長務充足ヲ迅速且的確ニ遂行スル必要アリト認ムルトキハ充足セラルベキ從業者ヲシテ其ノ指示スル業務ニ從事スペキコトヲ命ズルコトヲ得

第五條 地方長官前條ノ從業ヲ命ズベキ者ヲ決定シタルトキハ之ニ從業令書ヲ交付シ從業ニ關シ必要なル事項ヲ指示スベシ

前項ノ從業令書ノ交付ヲ受ケタル者ハ同項ノ指示ニ從フベシ

第六條 所屬命令又ハ從業命令ノ變更及解除ハ令書ニ依リ地方長官之ヲ行フモノトス

第七條 地方長官必要アリト認ムルトキハ第三條第二項ノ團體ノ長又ハ第四條ノ命令ヲ受ケタル從業者ヲ使用スル事業主ニ對シ第三條第二項又ハ第四條ノ命令ヲ受ケタル從業者ノ使用、賃金、給料其ノ他ノ從業條件又ハ扶助ニ關シ命令ヲ爲スコトヲ得

第八條 地方長官ハ勤勞署長ヲシテ本令ノ施行ニ關スル其ノ事務ノ一部ヲ分掌セシメ又ハ市町村長（東京都ノ區ノ存スル區域、京都市、大阪市、名古屋市、横濱市及神戸市ニ在リテハ區長）若ハ之

ニ準ズベキモノヲシテ本令施行ニ關スル事務ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第九條 第二條、第三條第一項、第四條若ハ第七條ノ規定ニ依ル命令又ハ第三條第四項若ハ第五條

第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人の代理人、使用人其ノ他ノ從業者ノ法人又ハ人の業務ニ關シ

第七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキハ行為者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ前條ノ罰金刑ヲ科ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

厚生省發勸第二二四號

昭和二十年十月二十四日

厚 生 次 官

各 地 方 長 官 殿

昭和二十年十月十六日厚生省令第四十一號

事務取扱要領ニ關スル件

昭和二十年勅令第五百四十二號ニ基ク勞務充足ニ關スル厚生省令第四十一號十月十六日公布相成候處本令ハ現情勢下勤勞行政上緊要已ムヲ得ザル場合ニ發動スペキヲ目途シテ制定セラレタルモノニ有之之が運用ニ付テハ一般國民ヲシテ徒ラニ義務ヲ荷負セシメザル様別紙要領ニ依リ特ニ慎重ニ取扱相成度及依命通牒候也

昭和二十年勅令第五百四十二號ニ基ク勞務充足ニ關スル

昭和二十年十月十六日厚生省令第四十一號事務取扱要領

第一 第一條關係

本省令ハ昭和二十年勅令第五百四十二號ニ根據ヲ有シ聯合國軍最高司令官ノ爲ス要求ニ係ル勞務ヲ迅速的確ニ充足ゼンガ爲制定セラレタルモノニシテ

一、聯合國軍最高司令官ノ爲ス要求ニ係ル勞務トハ聯合國最高司令官ヨリ直接要求セラレ又ハ要求

ニ係ル事項ヲ實施スル爲充足スルヲ要スル勞務ノ謂ヒナルコト

- 一、各地域ニ於ケル聯合國占領軍指揮官ノ指示スルコトアルベキ勞務供出ノ要求ハ前項ニ記載スル聯合國軍最高司令官ノ爲ス要求ト解スベキニ付爲念
- 二、差當リ本令ヲ發動スルコトヲ得ベキ對象事項ハ左ノ通トスルコト

- 1、港灣荷役
- 2、船舶ノ建造又ハ修理
- 3、道路、鐵道、埠頭其ノ他ノ施設ノ修理
- 4、聯合國占領軍用ノ住居及其ノ他ノ關聯施設ノ建造

第二 第二條關係

本規定ハ現實ニ要求セラレ又ハ要求ヲ豫想セラレ且ツ之が勞務ノ所在確實ニ把握シ難ク充足困難ナリト認メラル職種ノ的確ナル把握並ニ之ガ移動ノ狀態ヲ知悉セントヘル趣旨ニシテ

一、本規定ニ依リ地方長官ノ指示スペキ職種ハ第一ノ三ニ該當スル事業ニ必要ナル概不左ノ職種中其ノ充足困難ナリト認メラル、モノニ限り必要ノ都度之ヲ行ヒ溢リニ多數フ職種ヲ指定スルガ如キヲ避クルコト

1、九月七日發動第一九九號通牒別表記載職種

2、鍛打工、製鐵工、鐵木工、銅工、鑄裝工、木工、造船工、塗裝工

3、其ノ他地方長官ノ必要ト認ムル職種

二、届出ノ様式ハ特ニ指示セザルモ難解ニ亘ラズ極メテ簡易ナルモノヲ適宜定ムルコト

第三 第三條關係

本規定ハ勞務ノ充足ヲシテ要求ノ諸條件ニ迅速且ツ的確ニ合致セシムル爲供出ノ事前ニ於テ豫メ組織的ニ充足準備態勢ヲ採ラントスル趣旨ニシテ

一、指定スル團體ニ所屬セシムルトハ充足セラルベキ從業者ヲシテ本件勞務ノ提供ニ付當該團體長ノ支配關係ノ下ニ從屬セシメ置クコトヲ意味シ其ノ關係ハ特ニ雇傭關係ヲ存在セシムルコトヲ要件トセザルモノナルコト

二、所屬命令ヲ受ケタル場合ニ在リテモ本規定ニ依ル所屬團體長ノ指示ナキ限り當該從業者ノ雇入、就職ハ自由ニシテ何等ノ束縛ヲ受ケザルモ（勤勞配置規則第六條ノ適用ヲ受クベキ場合ニ在リテハ之ヲ受クルヲ要スルコト）本規定ニ依ル所屬團體長ノ指示アリタルトキハ遲滯ナク指示ニ從ヒ從業スルノ義務ヲ有スルモノナルコト

三、所屬命令ハ主トシテ土建其ノ他日傭勞務者等組織的出動ヲ適當トスル勞務者ニ對シ之ヲ發スルモノトシ財團法人勞務協會會員タル者及會員タラザル者ノ中ヨリ必要ト認ムル員數ニ限定シ、右以外ノ職種ノ者ニ付テハ必要已ムヲ得ザル場合ニ限り之ヲ爲スコト

四、指定スベキ團體ハ概ネ左ノ區分ニ依リ選定シ別紙様式ニヨリ指定通知ヲ以テ之ヲ指定ハルコト

1、土建荷役其ノ他日傭勞務ニ付テハ財團法人勞務協會都道府縣支部又ハ其ノ分會（勞務協會設立ナキ場合ハ都道府區勞務報國會又ハ其ノ支部）トスルコト

2、其ノ他ノ職種ニ付テ必要アル場合ハ廳府縣又ハ市町村トスルコト

五、所屬セシムベキ期間ハ原則トシテ三月以内トシ必要アル場合ハ之ヲ更新スルコト

六、指定團體ヲシテ適宜ナル様式ニ依リ所屬員名簿ヲ作成備付ケシメ其ノ狀況ヲ明確ナラシメ置クコト

七、所屬令書及變更並ニ解除令書ハ別紙様式ニ依ルコト

第四 第四條及第五條關係

本規定ハ第三條ノ規定ニ依リ團體ニ所屬セシメ居ラザル者ニ付之が供出ノ完遂ヲ圖ラントスル趣旨ニシテ

- 一、従業命令ハ指導勵奨ニ依リテハ其ノ目的ヲ達スルコト能ハザル場合ニ限り發動スペキモノニシテ濫リニ之ヲ用フルガ如キヲ避クルコト尙本命令ハ所屬命令ト異リ個人的出動ヲ適當トスル労務者ニ對シ之ヲ爲スペキモノナルコト
- 二、従業命令ヲ受ケタル者ヲ使用スル者ニ對シテハ事前ニ充分本趣旨ヲ徹底セシメ特ニ之が労務管理ニ遺憾ナキヲ期セシムルコト
- 三、従業命令ハ雇傭關係契約締結ヲ強制スルモノニ非ザルモ賃金等労務管理上必要ナルニ付雇傭關係ヲ締結シムルコト
- 四、従業命令書及變更並ニ解除令書ハ別紙様式ニ依ルコト

第五 第八條關係

本規定ハ本件事務處理ヲ迅速ナラシメントスル趣旨ニシテ

- 一、所屬令書、従業令書及變更並ニ解除令書ノ交付ハ勤勞署長ヲシテ分掌セシムルコト
- 二、右事務ニシテ必要アル場合ハ其ノ一部ヲ市町村長ヲシテ補助セシムルコト
(様式略)

勸發第九五〇號

昭和二十年九月十五日

地方長官殿

厚生省勤勞局長

(東京都ニ在リテハ警視總監)

聯合軍ニ對スル労務供出ニ關スル給與ノ支拂等ニ關スル件

聯合軍ニ對スル労務供出ニ關スル給與ノ支拂等ニ關スル件
聯合軍ニ對スル労務供出ニ關スル給與ノ支拂等ニ關シテハ終戰連絡委員會ト協議ノ結果別紙ノ通り決定相成候條之が實施ニ當リテハ關係方面ヘ指導周知方徹底シ萬遺憾ナキヲ期セラレ度

聯合軍ニ對スル労務供出ニ關スル給與ノ支拂等ニ關スル件

一、労務者ニ對スル賃金ハ請負業者等介在スル場合ニ付テハ當該業者ヨリ其ノ他ノ場合ニ於テハ終戰連絡地方事務局(又ハ地方廳)ニ於テ之が支拂ヒヲ爲スモノトス 尚請負業者等ニ對スル請負料ノ支拂ハ終戰連絡地方事務局(又ハ地方廳)ヨリ之ヲ爲スコト

二、労務者ニ對スル賃金ノ支拂ハ一般的慣習ニ依ル支拂時期ニ之ヲ爲シ得ル如ク措置スルコト

三、賃金ノ額ハ其ノ地方ノ公定賃金協定賃金從前ノ收入等ニ依リ成ルベク統一的ニ定ムルコト
來高拂ヲ可トスルモノニ對シテハ出來高拂ヲモ認ムルコトトシ此ノ場合單價決定等ヲ爲サシムル
爲適當ナル指導者ヲ勞務者ト共ニ派遣スルコト

四、勞務者ニ對スル食糧加配其ノ他作業用品ノ支給ニ付現地ニ於テ特段ノ措置ヲ講スルコト
五、就業中ノ死傷者ニ對シテハ工場法、労働者災害扶助法等ニ準ズル扶助ヲ賃金支拂責任者ニ於テ
爲スコト

但シ請負業者ニ雇傭セラル労務者ニ在リテハ請負業者ニ於テ扶助ノ責ニ任ズルコト
勤發第一〇七九號

昭和二十年十月二十六日

各廳府縣長官殿

(東京都ニ在リテハ警視總監)

聯合軍ニ對スル供出勞務ノ給與ニ關スル件

衛生省勤勞局長

標記ノ件ニ關シテハ昭和二十年九月十五日勤發第九五〇號ヲ以テ通牒致候處今回常備者ノ給與額等
ニ關シ終戰連絡事務局及大藏省關係官ト協議ノ結果左ノ如ク決定相成候條之ガ實施ニ遺憾ナキヲ期
セラレ度

第一 常備者ノ給與

- 一、給與八月給制(試備期間中其ノ他必要アリト認メタル場合ハ日給月給制ニ依ルコトヲ得)ト
シ別紙「聯合軍供出常備者給與基準」記載ノ最低額、最高額ノ範圍内ニ於テ當人ノ技能、經
驗、人物ニ應ジ決定スルコト
- 二、右ノ個人給與決定機關ハ供出勞務募集擔當當局(地方廳等ニ於テ給與決定機關ヲ別ニ定メア
ル場合ハ其ノ機關)トスルモ必要ニ應ジ之ヲ供出セル設備ノ管理者等直接使用人ノ管理ヲナス
ベキ者ニ委任スルコトヲ得ルコト

尙別紙「聯合軍供出常備者給與基準」ノ最高額ヲ超エ給與額ヲ定ムル要アル場合ハ其ノ理由ヲ
具シ終戰連絡中央事務局又ハ地方事務局ノ査定ヲ求ムルコト

- 三、月給以外ノ手當(早出殘業手當、夜勤手當、家族手當)ハ之ヲ支給セザルコト
- 第二 日傭勞務者ノ給與

一、賃金ノ額ハ公定賃金又ハ協定賃金ニ依ルヲ原則トスルモ勞務需給等ノ地方乃至時期的特殊事情ヲ勘案シ必要アル場合ハ公定賃金又ハ協定賃金ヲ超ユル賃金ヲ臨時的ニ定ムルヲ得ルコト右ノ聯合軍供出勞務賃金ハ彈力的ニ之ヲ決定遼用シ勞務供出ニ支障ナキヲ期スルト共ニ勞務供給事情ノ好轉ニ應ジ之ヲ公定賃金又ハ協定賃金ニ復歸セシムルコト

二、關係地方間ニ著シキ不均衡ヲ生ゼザル様關係當局間ニ緊密ナル連絡ヲ保チ賃金ノ調整ヲ計ルコト右ノ場合各地方ノ特殊事情ヲ充分考慮スルト共ニ單ニ貨幣賃金ノミヲ比較スルコトナク食糧其ノ他物資給與ノ有無量ヲ考慮ニ容ルルコト

三、聯合軍供出勞務者ニ對シテハ食糧其ノ他ノ物資給與ヲ行ヒ賃金ノミノ引上ゲハ努メテ之ヲ避クルコト

聯合軍供出常備者給與基準

職種	給與額(月額単位圓)	備考
書記	二〇〇—三五〇	英語ヲ解スル者
"	一五〇—二五〇	英語ヲ解セザル者

英文タイピスト	二〇〇—四〇〇
邦文タイピスト	一〇〇—二〇〇
英文速記係	三〇〇—五〇〇
案内人	二〇〇—三五〇
交換手	二〇〇—三〇〇
下男	八〇—一五〇
ハウスキーパー	一五〇—二〇〇
給仕人	一〇〇—一五〇
家政婦	二〇〇—五〇〇
守衛	五〇—一〇〇
雜役 <small>(掃除洗濯等)</small>	一五〇—二〇〇
監督	一〇〇—二五〇
人材理	三〇〇—六〇〇

料理人補助	一一八
通譯	一〇〇—三〇〇
翻譯	二〇〇—三〇〇
能工	二五〇—四〇〇
修理人	二〇〇—四〇〇
副管理人	五〇〇—八〇〇
技术者	三〇〇—五〇〇
技術	五〇〇—八〇〇

註 本表ニ記載ナキ職業ハ之ニ類似スル本表記載職業ニ對スル額ニ依ルコト

厚生省發勸第二一八號

昭和二十年十月十六日

各廳府縣長官一殿
各地方鑛山局長一殿

厚生次官
軍事保護院副總裁

應召又ハ入營中ノ勤勞者ニ對スル給與支給ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通決定相成候條各種團體、工場、會社等ニ對シ右ノ趣旨ニ依リ御指導相成度此段及通牒候也

(別紙) 應召又ハ入營中ノ勤勞者ニ對スル給與ニ關スル件

(昭和二十年十月十五日次官會議決定)

在外地部隊ノ内地歸還ハ今後相當長時日ヲ要スルモノト豫想セラルルヲ以テ應召中又ハ入營中ノ勤勞者ニ對スル給與ニ關シテハ左ノ措置ヲ講ゼシムル如ク指導シ留守家族ノ生活ヲ保證スルモノトス
一、今後存續スペキ團體、工場、會社等ニ於テハ本人ノ歸還迄從來ノ給與(應召手當、入營手當等)ノ支給ヲ續行スルコト

經理上其ノ他已ムヲ得ザル事情ニ依リ從來ノ給與額ノ變更ヲ要スル場合ニ於テハ可及的最少限度

ノ減額ニ止ムルコト

一一〇

一、廢止又ハ解散スル團體、工場、會社等ニ於テハ一般退職者ニ準ズル退職時ノ給與（退職手當、特別慰勞金）等ヲ支給スルコト
存續會社等ニシテ規模ソ著シク縮少スルニ依リ已ムヲ得ズ應召中又ハ入營中ノ勤勞者ヲ退職セント
ムル場合、退職者ノ數ヲ可及的最少限度ニ止ムルト共ニ退職者ニ對シテハ前項ニヨリ給與スルコト

厚生省發動第一九九號

昭和二十年九月七日

厚生省勤勞局長

廳府縣長官 殿
地方總監

聯合國軍進駐ニ伴フ勞務確保ノ準備措置ニ關スル件

聯合國軍進駐ニ伴ヒ諸般ノ設營及施設修理建造等ノ爲聯合國軍最高司令官ヨリ終戰連絡中央事務局ヲ通ジ之が所要勞務者ノ供給ニ付準備方要求有之タルニ付左記事項御了知ノ上至急準備ヲ講ジ置キ
事ニ臨ミ適時、適確、所要ニ應ジ得ル様何分ノ御手配相成度此段依命及通牒候也

記

一、準備ヲ要スル勞務者ノ範圍ハ左ノ通ニシテ其ノ内（イ）及（ロ）ノ具體的職種ニ付テハ判明次第通牒スルモ不取敢宿舍、電氣、瓦斯、上下水道、暖房等聯合國軍進駐ニ伴ヒ必要ナル設營及道路、鐵道、埠頭其ノ他ノ施設ノ修理並各種荷役、運搬作業等ニ要スルモノトス

参考

- （イ）一般勞務者
- （ロ）技術的勞働及半熟練勞働
- （ハ）荷扱及仲仕
- （ニ）道路、鐵道、埠頭其ノ他施設ノ修理
- （ホ）聯合國占領軍用ノ住居及其ノ關聯施設ノ建造

（右ハ聯合國軍要求勞務者ノ範圍ナリ）

二、右要求ニ當リテハ聯合國軍當該地區指揮官ヨリ必要ノ都度終戰連絡中央事務局現地機關ヲ通ジ關係地方總監府又ハ廳府縣ニ要求スル様申入シアルモ直接貴廳ニ對シ勞務供給方要求アリタル場合ハ一應之ヲ受理シタル後直チニソノ旨及要望事項等アラバ之ヲ添ヘ終戰連絡中央事務局現地機

關ニ通報スルコト

一一二

作業場所、作業時間、職種（技倆ノ程度）別所要人員ハ其ノ際明示サルルモノナルコト

三、廳府縣ハ別表（一）職種該當者ニ付適時適確ナル供出ニ備フル爲豫メ左記ニ依リ之が給源ヲ確實ニ把握シ置クコト

（一）土建、荷役、輸送労務者ニ付テハ勞務報國會等ヲ督勵シ當該労務者ノ登錄整備ニ努メシメ常ニ其ノ現況ヲ明カニシ置クコト

特ニ荷役、輸送労務者ニ付テハ日通、港運、自動車統制會社其ノ他關係組合ノ積極的ナル協力ヲ求ムルコト

（二）技術者ニ付テハ土建關係會社、關係組合等ノ積極的協力ヲ求ムルノ外科學技術者申告及勞務手帳登錄カードヲ活用シ該當者ノ所在ヲ確認シ置クコト

四、前號ノ措置ニ基ク出勤豫定者ニ付テハ出勤ノ趣旨ヲ充分徹底セシメ指示アリ次第所定ノ日時、場所ニ遲滯ナク參集スル様豫メ充分留意セシメ置クコト

尙、就職、就労者ノ爲現住地ヲ離レントストキハ其ノ旨豫メ關係勞務報國會支部、組合、會社、請負業者等ニ届出セシムル等適當ノ措置ヲ講ジソノ移動狀況ヲ明ニシ置クコト

五、出勤ノ趣旨ノ徹底ニ當リテハ之が要求ニ應ゼザルヲ得ザル事情ヲ充分了解セシメ其ノ愛國心ニ訴フルコトニヨリ苟モ出勤ヲ拒否スルが如キコトナキ様特ニ指導スルコト

六、聯合國軍ハ本勞務ノ最高能率發揮ノ状態ニ於テ勞務者ノ統制保持ヲ要求シ居ルニ付出席ハ相當數集團的ニ爲サルノ見込ナルヲ以テ出勤ハ組織ニ依ラシムルコト、シ此ノ爲勞務報國會員ニ在リテハ都道府縣勞務報國會勤勞挺身隊整備要綱ニ基キ他ノ労務者ニ在リテハ右要綱ニ準據シ豫メ必要ナル隊組織ヲ整備シ置クコト

前項隊ノ組織ニ當リテハ作業ノ特性ニ鑑ミ身體強健ニシテ技倆優秀ナル者ヲ以テ之ヲ編成スル如ク留意スルコト

七、要求數又ハ労務者ノ内容ニ依リ當該廳府縣ニ於テ給源ノ状況ヨリシテ其ノ要求ヲ充シ難キトキハ地方總監府ニ稟伺シ他廳府縣ヨリ應援ヲ求ムルコト此ノ場合地方總監府ニ遲滯ナク適當ナル調整ヲナスコト

八、聯合國軍ノ要求ハ明確ナル日時ヲ指示シ之が遷延ヲ許サザルニ付此ノ旨了知ノコト

九、諸給與及支拂責任者ニ付テハ別途指示ズベキモ既ニ要求ニ基キ出勤又ハ出勤セシメントスル事態ニアルトキハ終戰連絡中央事務局現地機關其ノ他ノ現地日本側適當機關ヲ通ジテ當該地方ニ於

一一四

ケル同種作策ニ對スル公定貨金、協定貨金又ハ從前收入額ヲ標準トシテ遲滞ナク支拂ヲ受クル様措置スルコト

一〇、廳府縣ハ別表ニ依リ本月二十日現在ヲ以テ供出見込數ヲ本月二十五日迄ニ厚生省及地方總監府ニ報告スルコト

聯合國軍進駐關係勞務者供出準備狀況報告

縣

職種	總數	供出可能數	摘要	職種	總數	供出可能數	摘要
1、電氣技術者	10	9	鐵道軌道線路工夫	1、電氣配線工人	18	17	鐵左瓦
2、土木建築技術者	2	2	及煉瓦	2、大家板	16	15	及タイル
3、機械技術者	3	3	斯	3、建瓦	14	13	積
4、自動車運轉手	4	4	備	4、瓦	12	11	張
5、自動車修繕工	5	5	工	5、立官工	10	10	工
6、汽罐	6	6	職工	6、工	9	9	工
火	8	8	工	7、工	8	8	工
				8、工			

30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
木取金銅	防	井枡	コ	土	嵩	風	ス	石	レ	ー	ト
屬製	屬製	ンクリート	ンクリート	機	機	機	機	機	工	工	工
工具取付	工具取付	組	組	工	工	工	工	工	工	工	工
帝國憲法第八條第一項ニ依リ「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ聯合國最高司令官ノ爲ス要求ニ係ル事項ヲ實施スル件	41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
給料沖運荷仲道	仕理仲搬扱	路	爐溫裝子	工	人	人	人	人	人	人	人
(昭和二十年九月二十日 勅令第五百四十二號)	41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

(参考)

政府ハ「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ聯合國最高司令官ノ爲ス要求ニ係ル事項ヲ實施スル件ニ必要アル場合ニ於テハ命令ヲ以テ所要ノ定ヲ爲シ及必要ナル罰則ヲ設クルコトヲ唱

附則

一一六

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二十年勅令第五百四十二號（「ボツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件）施行ニ關スル件

昭和二十年勅令第五百四十二號リ於テ命令トハ勅令、閣令又ハ省令トス

（昭和二十年九月二十日
勅令第五百四十三號）

前項ノ閣令及省令ニ規定スルコトヲ得ル罰ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮、五千圓以下ノ罰金、科料及拘留トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

八、港灣荷役及船舶等造修能力ノ確保昂上關係

- 一 昭和二十年十月二十日厚生省令第一號（昭和二十年勅令第五百四十二號ニ基ク港灣荷役力及船舶等造修能力ノ確保昂上ニ關スル件）
- 一 港灣荷役及船舶等造修能力確保ニ關スル勞務充足ノ件（昭二〇・一〇・一一、勅動發第七七號厚生省勤勞局勤勤部長）
- 一 港灣荷役及船舶等造修能力確保昂揚ニ關スル勞務充足ノ件依命通牒（昭二〇・一〇・一三、厚生省發勤第二二六號厚生省勤勞局長）
- 一 （参考）一九四五年九月二十八日AG五六〇覺書（非戰間日本船舶ノ利用ニ關スル件聯合國最高司令部）